

HPE 3PAR File Persona Software Suite

ファイルアクセスとオブジェクトアクセスの真の統合を、卓越したプライマリストレージ上で実現

急速に増大するユーザーファイルデータ需要に、妥協することなく効率的かつ効果的に対応

ファイルベースの非構造化データの一般的な増加率は年に約 80% に上るという調査があり¹、このままでは 2015 年までに、一般的なデータセンターで利用できるストレージの約 90% を消費してしまいます²。常に前進し続ける組織にとって、アーキテクチャー上の限界やサイロ化された専用ストレージ容量などの問題を抱えたインフラストラクチャは、成長の足かせになりかねません。

今日の市場にある、いわゆる「ユニファイド」ソリューションは、すでにブロックプロトコルとファイルプロトコルの両方をサポートしています。しかしながらこうしたソリューションは、基本的に、既存のブロック機能にファイル機能を後付けした（またはその逆の）アーキテクチャーを採用しているに過ぎません。ビジネスが成長するにつれて、このような表面的なソリューションでは、本来のマルチプロトコルコンバージェンスの柔軟性や効率性を提供できなくなります。

見せかけのユニファイドストレージソリューションを使ったり、既存のブロックストレージレイのフロントにファイルサービス用のゲートウェイを追加したりすれば、現在のニーズを満たすことはできるかもしれませんが、将来についてはどうでしょうか。環境が拡大し、インフラストラクチャが継続的に進化する中でも、真に統合されたプライマリストレージプラットフォームであれば、企業ファイルの同期と共有、ホームディレクトリ統合、グループ間共有などの幅広いワークロードをネイティブな形で、妥協することなく効率的かつ効果的に処理することが可能です。

ブロックアクセス、ファイルアクセス、オブジェクトアクセスの真の統合

HPE 3PAR File Persona Software Suite は、HPE 3PAR StoreServ ストレージレイ内で、HPE 3PAR Operating System とアレイのコンバージドコントローラーによって実現される、ネイティブのファイルアクセス機能とオブジェクトアクセス機能を有効化します。この方法は、システムアーキテクチャーにマルチプロトコルサポートを組み入れた独自のソリューションを通じて、緊密に統合された真のコンバージドソリューションを提供することによって、ブロックストレージボリュームとファイル共有の両方を単一のストレージシステムからプロビジョニングすることを可能にします。従来のソリューションとは異なり、この真のコンバージドソリューションは、HPE 3PAR StoreServ ストレージシステムがすでにブロックワークロードに提供しているアーキテクチャー上のメリットを、簡単に配備や管理ができる方法で、ファイル共有やオブジェクトアクセスにまで広げることができます。

¹Gartner Dataquest 社、ID # G00208772、2010 年 11 月

²IDC 社、IDC Predictions 2012: Competing for 2020 (2012 年の IDC 予測: 2020 年に向けた競争)、2011 年 12 月



現在使用中のストレージからHPE 3PAR StoreServ ソリューションへ移行することにより、今後3年間で節約できるコストと得られるROIの見込み額を、5分で計算できます。
[ここをクリックして](#)、HPE Storage Quick ROI計算ツールをぜひご利用ください。

HPE 3PAR File Persona Software Suite は、ライセンスによって使用が許可される HPE 3PAR Operating System の機能であり、一連の豊富なファイルプロトコル、ファイルデータサービス、およびオブジェクトアクセス API (REST) が有効化されます。File Persona の機能を有効にすると、1つのユーザーインターフェイスからファイル共有やブロックボリュームをプロビジョニングできるようになります。このソリューションは、システムのデフォルトの Block Persona によってネイティブに取り扱うことができるプライマリストレージワークロードの範囲を拡大します。Block Persona は仮想化、データベース、アプリケーションワークロードに最適であり、File Persona と組み合わせることで、企業ファイルの同期と共有、ホームディレクトリ統合、グループ / 部門間の共有、会社間共有、カスタムクラウドアプリケーションなどがすべて、真のコンバインドコントローラー、真にアジャイルな容量、および真のユニファイド管理を通じて実現されます。

こうした手法により、HPE では、社員の生産性を上げつつ、ユーザーが作成したファイルデータの保護やセキュリティを向上したいと望む組織に、広範なワークロードに効果的に対応できる真のコンバインドプライマリストレージプラットフォームを提供できるようになりました。HPE 3PAR StoreServ ストレージシステム内でこうした機能を有効化する鍵となるのが、HPE 3PAR StoreServ File Persona Suite です。

妥協しない

HPE 3PAR StoreServ ストレージは、他のストレージアレイにありがちな妥協を払拭するよう設計されています。さらに HPE では、プロトコルコンバージェンスに対する新たなアプローチを通じて、ソリューションのさらなる強化を図っています。Gartner 社からデータベース / 仮想化ワークロードに最適なミッドレンジプラットフォームと評価され³、99.9999% の可用性保証プログラム⁴を提供する唯一のオールフラッシュアレイである HPE 3PAR StoreServ ストレージは、従来のユニファイドストレージに改良の余地があったことを実証する Tier 1 プラットフォームです。

HPE 3PAR StoreServ ストレージだけが、マルチコントローラーアーキテクチャー上で、ハードウェア高速化データ圧縮機能を使用して、ワークロード中心の Storage Persona を直接ホストすることができ、それによりハイパフォーマンスかつ低コストの Tier 1 ストレージプラットフォームを提供して、あらゆるアプリケーションニーズやデータタイプを扱うことができます。

第1世代のユニファイドマルチプロトコルシステムとは異なり、HPE 3PAR StoreServ ストレージ内でのファイルアクセスサービスとオブジェクトアクセスサービスの統合では、ブロックとファイル間に柔軟性に欠ける容量プールは作成されず、またブロックストレージによる処理に適したアプリケーションをファイルプロトコルを介して実行する必要もありません。代わりに、一から構築されたフラッシュ最適化ソリューションによって、ブロックワークロードとファイルワークロード用の統合された1つの容量を利用し、3倍の密度とストレージ総コストの削減を実現しながら⁵、仮想化、データベース、アプリケーション、およびファイルベースのワークロードに対しても妥協のない可用性を提供します。

³ Critical Capabilities for General-Purpose, Midrange Storage Arrays (汎用ミッドレンジストレージアレイの必須機能)、2014年3月 gartner.com/technology/reprints.do?id=1-1RUYO03&ct=140314&st=sb

⁴ HPE 3PAR Get 6-Nines Guarantee Program の契約条件に対する適格性と準拠の程度によって異なります。HPE 3PAR Get 6-Nines Guarantee Program の契約条件は、HPE の営業担当者またはチャネルパートナーから提供されます。

⁵ EMC VNX との比較に基づく HPE 社内分析 (2014年9月)。

プライマリストレージの効率性を最大化

HPE 3PAR StoreServ ストレージシステムで File Persona を有効にすると、次のことが可能になります。

- 企業ファイルの同期と共有
- ホームディレクトリの統合
- グループ / 部門間の共有
- 会社間共有
- カスタムクラウドアプリケーション

こうした新たな用途にシステムの利用を拡大し、単一のコンバインドソリューションによりブロック、ファイル、およびオブジェクトへのアクセスを俊敏にプロビジョニングすることで、データセンターのスペースを最大71% 削減するとともに、大幅な節電も達成できます⁶。

このソリューションでは、HPE 3PAR StoreServ ストレージの革新の根幹とも言える、組み込みのゼロ検出、業界をリードするシンプロビジョニング機能、シンデデублиケーション機能などを活用した、ファイルデータ圧縮をサポートしています。また HPE 3PAR Adaptive Optimization と Dynamic Optimization のソフトウェアライセンスをこのソリューションに加えることで、ブロックワークロードだけでなくファイル共有でも、パフォーマンスと容量のきめ細かな効率性向上が可能になります。

File Persona はまた、HPE 3PAR StoreServ ストレージがデフォルトの Block Persona 経由でブロックワークロードにもたらすのと同じ多くの強固な機能を利用できます。これには HPE Adaptive Flash Cache のサポートが含まれます。これは HPE 3PAR Operating System の機能の1つで、ソリッドステートドライブ (SSD) の容量を使って DRAM キャッシュを拡張し、読み出しの多いワークロードのパフォーマンスを向上するとともにレイテンシを短縮します。

⁶ EMC VNX との比較に基づく HPE 社内分析 (2014 年 9 月)。

ストレージのプロビジョニングと管理を簡素化

HPE 3PAR File Persona は、SMB/CIFS プロトコルや NFS プロトコル、オブジェクトアクセスといった豊富な付属機能で、幅広いクライアントオペレーティングシステムをシームレスにサポートできます。ユニファイド HPE 3PAR StoreServ Management Console (SSMC) は、シンプルかつ能率的な単一の管理インターフェイス上でファイル共有を簡単にプロビジョニングでき、業界随一の使いやすさを実現しています。スクリプト可能で強力な CLI は、制御性や柔軟性をより一層向上します。またこのソフトウェアスイートでは、オブジェクトアクセス API (REST) を介して、カスタムクラウドアプリケーションのためのプログラムによるデータアクセスを提供できます。

HPE 3PAR File Persona を有効にすると、Microsoft® Active Directory、OpenLDAP、ローカルユーザー認証など、幅広い IT インフラストラクチャソリューションにファイル共有を直接統合できます。また、セルフサービス方式のファイル共有管理を実現する OpenStack® Manila がサポートされているため、オープンクラウドまたはハイブリッド環境内でのファイル運用がより一層容易になります。その結果、統合に手間がかからず、管理が容易なデータセンターへの変革が促進されます。

安心してファイル共有を配備

HPE 3PAR File Persona が提供するファイル共有は継続的に利用可能なため、HPE 3PAR Operating System のアップグレードに中断を必要とせず、またコントローラーの障害時にはクライアントの透過的なフェイルオーバーが可能です。ユーザー主導のファイルリカバリ用のポイントインタイムファイルストアのスナップショットや、サードパーティ製のウイルス対策ソフトウェアやバックアップ/リストア用ソフトウェア、別途ライセンスが必要な HPE 3PAR Remote Copy 経由のディザスタリカバリ (DR) レプリケーションにより、全体的なデータ保護も提供されています。さらに HPE 3PAR File Persona は、不正なデータアクセスを防ぐためのオプションの追加手段として、FIPS 140-2 により検証済みの保存データ (DAR) 暗号化セキュリティをサポートしています。ファイルデータと組織の保護やアップタイムの向上は、HPE 3PAR StoreServ ストレージに組み込まれた高可用性 (HA) 機能と耐障害性機能により、これまでにない簡単になりました。

HPE 3PAR StoreServ ストレージ用のソフトウェアスイート

HPE 3PAR Operating System Software Suite	HPE 3PAR StoreServ システムを新規導入する際に必須のスイートです。これは、導入や運用を迅速かつ効率的に進めるために必要な機能をすべて備えた、基盤となるソフトウェアスイートです。このスイートには、HPE 3PAR Operating System、HPE 3PAR SSMC (SSMC)、HPE 3PAR Host Explorer、および HPE 3PAR SmartStart* (新しい HPE 3PAR StoreServ システムの迅速な立ち上げを支援するソフトウェア) が含まれています。また、このプラットフォーム用のすべてのシンソフトウェア製品 (HPE 3PAR Thin Provisioning、Thin Conversion、Thin Persistence、Thin Deduplication、および Thin Clones) もバンドルされています。さらにこのスイートの特長として、HPE 3PAR Full Copy、将来の容量拡張時の最適化に役立つ自律的な再バランス調整機能、クラスター環境の高可用性を実現する標準的なマルチパスソフトウェアのサポートなども挙げられます。EMC VMAX、CLARIX CX4、および VNX アレイ、または HPE EVA ストレージからの移行を可能にする、HPE 3PAR Online Import の 180 日間ライセンスも付属しています。
HPE 3PAR File Persona Software Suite	HPE 3PAR Operating System の機能の 1 つです。このライセンスにより、一連の豊富なファイルプロトコル、ファイルデータサービス、およびオブジェクトアクセス API (REST) が利用可能になり、HPE 3PAR StoreServ ストレージシステムがネイティブに取り扱うことができるプライマリストレージワークロードの範囲が広がります**。このソリューションにより、HPE 3PAR StoreServ ストレージアーキテクチャーのメリットを、より広範な用途に適用できます (企業ファイルの同期と共有、ホームディレクトリの統合、グループ / 部門間共有、会社間共有、カスタムクラウドアプリケーションなど)。
HPE 3PAR Replication Software Suite	オプションのスイートで、HPE 3PAR Virtual Copy および HPE 3PAR Remote Copy ソフトウェアがバンドルされています。どちらのソフトウェアも HPE 3PAR StoreServ ストレージの各モデル用に個別に購入できます。さらに、VMware® クラスターおよび Windows® クラスター向けのピアフェデレーションを通じて、全体的な可用性を向上する HPE 3PAR Peer Persistence も付属します。システム容量ベースでライセンスが供与されます。
HPE 3PAR Data Optimization Software Suite	このオプションのスイートには、HPE 3PAR Dynamic Optimization、Adaptive Optimization、Peer Motion、Priority Optimization ソフトウェアがバンドルされており、アプリケーション、ユーザー、サービスに影響を及ぼすことなく、アレイ間でのスムーズなデータおよびワークロードの移動を可能にします。システム容量ベースでライセンスが供与される、このスイートにバンドルされている 4 つのソフトウェアは、すべての HPE 3PAR StoreServ ストレージモデル向けに個別に販売されています。購入時期により、このスイートに含まれるソフトウェアが変わる場合があります。詳細については、 「HPE 3PAR ソフトウェア QuickSpecs」 を参照してください。なお、HPE 3PAR StoreServ 10000 ストレージモデルのみ、Adaptive Optimization と Dynamic Optimization で構成される HPE 3PAR Optimization Suite を利用できます。
HPE 3PAR Security Software Suite	このオプションのスイートには、HPE 3PAR Virtual Domains と HPE 3PAR Virtual Lock ソフトウェアがバンドルされており、両ソフトウェアともすべての HPE 3PAR StoreServ ストレージの各モデル向けに個別に販売されています。このスイートを使用することで、さまざまなアプリケーションやユーザーグループに、安全に分離されたアクセスと堅牢なストレージサービスを提供するとともに、保持されているストレージボリュームに対するセキュリティを強化できます。システム容量ベースでライセンスが供与されます。
HPE 3PAR Application Software Suite for VMware	VMware 環境のアジリティと効率性の向上に必要なあらゆる要素を提供するスイートです。HPE 3PAR Recovery Manager for VMware、Host Explorer for VMware、vSphere APIs for Storage Awareness (VASA) サポート、および 3 つの必須プラグインである VMware Site Replication Manager (SRM) アダプター、HPE 3PAR VAAI プラグイン、HPE 3PAR management Plug-in for VMware vCenter が含まれます。このスイートはオプションであり、システムベースでライセンスが供与されます。
HPE 3PAR Application Software Suite for Microsoft Hyper-V	Hyper-V 環境を保護するためのオプションのスイートです。HPE 3PAR Recovery Manager for Microsoft Hyper-V、HPE 3PAR VSS Provider ソフトウェアがバンドルされており、システムベースでライセンスが供与されます。
HPE 3PAR Application Software Suite for Microsoft Exchange	このバンドルには、Exchange での使用に不可欠な、HPE 3PAR Recovery Manager for Exchange および VSS Provider ソフトウェアが含まれます。このスイートはオプションであり、システムベースでライセンスが供与されます。
HPE 3PAR Application Software Suite for Oracle	HPE 3PAR Recovery Manager for Oracle、Oracle Space Reclamation 機能など、Oracle データベースの保護に必要な機能がすべて含まれます。オプションのスイートとして販売され、システムベースでライセンスが供与されます。
HPE 3PAR Application Software Suite for SQL	Microsoft SQL データベースを保護するためのオプションのスイートで、HPE 3PAR Recovery Manager for Microsoft SQL、HPE 3PAR VSS Provider ソフトウェアなどがバンドルされています。システムベースでライセンスが供与されます。
HPE 3PAR Reporting Software Suite	システムの可視性とレポート機能を向上するオプションのスイートです。HPE 3PAR System Reporter ソフトウェア、HPE 3PARInfo アプリケーションなどがバンドルされており、システムベースでライセンスが供与されます。

* SmartStart は、HPE 3PAR StoreServ 7200c、7400c、7440c、および 7450c モデルと、8200、8400、8440、および 8450 モデルでのみご利用いただけます。

** HPE 3PAR File Persona は、HPE 3PAR StoreServ 7200c、7400c、7440c、および 7450c モデル、8200、8400、8440、および 8450 ミッドレンジモデル、さらには 20450、20800、および 20850 ハイエンドモデルでご利用いただけます。

HPE テクノロジーサービス

優秀な HPE のストレージコンサルタントおよびサービスプロフェッショナル

お客様やお客様のチームに寄り添い、ストレージニーズを明らかにしていきます。早期の実装や配備リスクの低減を支援するだけでなく、お客様が New Style of IT に向けてストレージを変革し、購入したストレージの価値を最大限に引き出すためのお手伝いをします。

アドバイス、変革、インテグレーション

ストレージ、バックアップ、アーカイブ、ディザスタリカバリ、ビッグデータに関する難問を、アドバイス、変革、インテグレーションなどのコンサルティングを通じて解決に導きます。

導入および実装

専門知識を駆使して導入、運用、移転、データ消去、および廃棄を支援し、運用の改善に焦点を当てたトレーニングを提供します。

運用およびサポート

お客様のビジネスに最適な、パーソナライズされたプロアクティブかつシンプルなサポートレベルを見つけることができます。

注記: 特定サービスの利用が可能かどうかは、製品により異なります。

ファウンデーションケア

システムレベルの IT ハードウェアとソフトウェアのサポートを、柔軟な対応時間帯と応答時間で提供します。シンプルで豊富なオプションが揃っています。

プロアクティブケア

リアクティブサービスとプロアクティブサービスを組み合わせ、購入しやすく、コスト効果の高いシステムレベルのサポートを、エキスパートによるパーソナルアドバイスとリモートサポートとともに提供します。これにより、問題を予防し、ダウンタイムを短縮できるように支援します。

HPE プロアクティブケアアドバンスト

プロアクティブケアを拡張するサービスです。パーソナライズされた技術上および運用上のアドバイスが、現地の担当アカウントサポートマネージャーからお客様に提供されます。アカウントサポートマネージャーは、パーソナルなテクニカルコラボレーションを実施し、専門スキルへの柔軟なアクセスによるビジネスクリティカルな IT の最適化を支援し、システムまたはデバイスの停止がビジネスに影響しないよう強化されたクリティカルインシデント管理を行います。

データセンターケア

ハイブリッドクラウドに備えたデータセンター環境の配備、運用、および進化を支えるために、HPE 製品に限らず他社製品も含めて、1つの窓口で必要なサポートを提供します。

HPE ストレージテクノロジーサービスでは、つながることでビジネスを支援するため、お客様の HPE ストレージソリューションおよびビジネスを HPE に接続するためのパスを提供しています。接続されると、HPE のエキスパートがお客様のシステムをスキャンし、ヘルスチェックを実行して、そのデータからパーソナルレポートや、問題やダウンタイムの予防措置に関する助言を作成します。

カスタマーテクニカルトレーニング

ExpertOne トレーニングで必要なスキルを習得し、HPE の認定を取得しましょう。HPE Converged Storage トレーニングで、テクノロジーの変遷を早め、運用パフォーマンスを向上し、HPE 製品における ROI を最大限に高めることができます。HPE のトレーニングは、柔軟な提供オプションやグローバルなトレーニング機能を通じて、いつでも受講できます。

hp.com/jp/education (日本語)

HPE ファクトリーエクスプレス

HPE ファクトリーエクスプレスでは、ストレージおよびサーバーをご購入いただいたお客様にカスタマイズサービスおよび設置サービスを提供しています。ご希望の仕様に合わせて工場内でハードウェアがカスタマイズされることで、迅速な導入が可能になります。

www.hp.com/jp/fe (日本語)

IT の新規取得から、既存資産の管理、および不要な設備の撤去にいたる、あらゆる IT ライフサイクル管理のカスタマイズについては以下をご覧ください。

hp.com/go/hpfinancialservices (英語)

www.hp.com/jp/hpfs (日本語)

詳細はこちら

hp.com/jp/3par (日本語)

hp.com/go/3parFileServices (英語)

メールニュース配信登録



© Copyright 2014–2015 Hewlett Packard Enterprise Development LP. 本書の内容は、将来予告なく変更されることがあります。HPE製品およびサービスに対する保証については、当該製品およびサービスの保証規定書に記載されています。本書のいかなる内容も、新たな保証を追加するものではありません。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書中の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対しては責任を負いかねますのでご了承ください。

MicrosoftおよびWindowsは、米国またはその他の国におけるMicrosoft Corporationの商標または登録商標です。Oracleは、Oracleおよびその関連会社の登録商標です。VMwareは、米国およびその他の地域におけるVMware, Inc.の登録商標または商標です。OpenStack Word Markは、米国およびその他の国におけるOpenStack Foundationの登録商標/サービスマークまたは商標/サービスマークであり、OpenStack Foundationの許可を得て使用しています。HPEは、OpenStack FoundationまたはOpenStackコミュニティに所属しておらず、承認または支援も受けていません。